熊歯会報

Kumashi Kaihou

2011
12
December
No.668

H23年度 笑顔ヘルCキャンペーン　写真コンクール 会長賞『収穫の喜び』　園田　友香 様

熊本県歯科医師会

熊歯会報 12月号

2011

歯科医師の倫理綱領

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

社団法人　日本歯科医師会

—表紙に寄せて—

「笑顔」をテーマとした作品として、とても心に残った写真です。

（H.K）

巻頭言（理事　前田　章二）…… 3

理事会…… 4・5

笑顔ヘルCキャンペーン ……6～10
（人吉、上益城、八代、天草、宇土、水俣・芦北）

熊本の偉人……11・12

シリーズ
一般社団法人に向けて　その2 ……13

委員会だより……14～22
（学術、学校歯科、医療対策、総務・厚生）

郡市会だより……23～26
（菊池、玉名、天草、荒尾・玉名
上益城、人吉）

歯の健康ランド……27

九地連厚生行事 ……28～30

会務報告 ……31・32

アメリカ同時多発テロから10年

― 愛国者法と自由 ―

噴煙

理事　前田　章二

同時多発テロから10年が経ち、テレビでは特集が組まれていました。

2001年９月11日のアメリカ同時多発テロ事件後、45日間で成立した法律が「テロリズムの阻止と回避のために必要な適切な手段を提供することによりアメリカを統合し強化する2001年の法（愛国者法）（パトリオット法)」で、2001年10月26日に米国大統領ジョージ・W・ブッシュが発効したアメリカ合衆国の法律です。

これは、米国内外のテロリズムと戦うことを目的として政府当局に対して権限を大幅に拡大させたものです。

この法律により、電話やＥメール、医療情報、金融情報や他の記録について当局に対し調査する権限を拡大し、アメリカ合衆国国内において外国人に対する情報収集の制限に対する権限を緩和し、財務省に対し金融資産の移転、とりわけ外国人や外国法人について規制する権限を強化し、テロに関係する行為をとったと疑われるものに対し司法当局や入国管理局に対し入国者を留置・追放する権限を高めることを規定しています。

さらに、「テロリズム」の定義を拡大し「国内テロ」をも含め、その結果、本法は司法当局の拡大された権限を行使する場面が飛躍的に拡大しました。

この法律は両院とも圧倒的多数の差で成立しましたが、当初から、市民の自由の保護を弱めるおそれがあるものだとして批判されていました。

現状においては、テロリストをより強力に取り締まる目的で成立した愛国者法は、国土安全保障を名目に、政府が国民のプライバシーを脅かすような様々な情報を入手することを可能にしました。しかし実際には、メディアや民間から、国土安全保障に必要とされる以上の情報収集が実施されるのではないかとの声も多いのが実状で、プライバシー保護とテロ対策とのバランスを取ろうと努めているのが連邦政府の現状です。

これと似たようなことが私たちの身の回りで起こってはいないでしょうか…。

理事会報告

受診時定額負担金反対の署名活動にご協力を

― 第９回理事会 ―

11月24日（木）午後７時00より県歯会館　第１会議室において浦田会長他く全役員出席のもと議長を浦田会長、議事録署名人を牛島理事、椿理事として第９回理事会が開催された。

開　会：宮坂副会長
挨　拶：浦田会長

東日本大震災もあり、国の財政問題はいよいよ危機的な状況になってきています。そのような中で、ＴＰＰ問題もそうですが、受診時定額負担金の問題が表面化して参りました。これについては歯科医師会のみならず医療団体すべてが反対の立場で活動を行っており、県歯科医師会としても県議会へ請願書を提出し、反対の行動を起こしています。また、ご存知のように、現在会員の先生方には受診時定額負担金反対の署名活動を行っていただいております。先生方におかれましても積極的に協力していただきますようお願い致します。さらに、例年のことですが、事業税の非課税措置の存続、並びに特措法の継続についても同じように熊本県、そして県選出国会議員へ要望書の提出を行っています。このように、歯科界、医療界が動いているということをしっかりと認識していただき、会員の先生方からの質問が寄せられた際には、十分に説明し、対応していただければと思います。本日も多くの報告・協議事項がありますので、慎重審議の程宜しくお願いいたします。

報　告

総　　務：第8回理事会、第15・16回常務理事会、天草郡市歯会創立80周年記念式典・祝賀会、九州地方社会保険医療協議会熊本部会、県庁との懇談会、第２回県病院歯科検討会、県警察歯科医会研修会、第10回警察歯科医会全国大会、新入会員研修会、第５回新法人設立検討臨時委員会、第１回歯科技工士国家試験委員会、県医療対策協議会、県医療・保健・福祉団体協議会臨時理事会、都道府県専務理事連絡協議会
学　　術：九州各県学術担当者会、日歯生涯研修DVDセミナー及び会員発表
社会保険：シニア倶楽部社会保険研修会、社会保険個別相談会、九州厚生局との打合せ、近県歯科医師会社会保険担当者会議
地域保健：笑顔ヘルCキャンペーン中央イベント・各郡市イベント
広　　報：「熊歯会報」11月号編集・校正
学校歯科：第75回全国学校歯科保健研究大会、第61回全国学校保健研究大会、第61回全国学校歯科医協議会、歯科衛生士との合同懇談会、県PTA災害見舞金安全会判定審査会
医療対策：医療相談苦情事例報告、九州各県歯科医療安全対策担当者会、玉名郡市歯会医療対策講演会、熊大口腔外科との協議会
セ･介護：介護者歯科実技研修会、第１回高齢者にやさしい食環境整備のためのニーズ調査検討会
総務厚生：健康診断（球磨郡）、シニア倶楽部
学　　院：学院推薦入学試験、学院入学試験委員会、天草郡市歯会創立80周年記念式典・祝賀会、第33回九州ブロック専門学校体育大会
国　　保：天草郡市歯会創立80周年記念式典・祝賀会、組合地区国保運営協議会職員研修会

以上、10月21日から11月17日までの総務、各委員会他の動きについて、浦田会長及び担当各役員より報告がなされた。

報　告その２

１．退会会員
・嘉悦　憲文　会員（一般／上益城郡）58歳
平成23年10月19日ご逝去

２．名義後援使用依頼
・日本医療マネジメント学会第14回熊本支部学術集会／日本医療マネジメント学会
・熊本スペシャルニーズ歯科研究会第２回講演会／国立病院機構熊本医療センター
・第20回糖尿病教育ネットワークKUMAMOTO／糖尿病教育ネットワークKUMAMOTO

３．職員人事
・総務課　入枝順子　契約社員とする
（11月１日付）
・学院課専任教員　大塚めぐみ　産休及び育児休暇（期間：11月１日～３月31日）
※臨時採用　浅野幸子（大塚めぐみ職員の休暇期間を代行）
４．熊本県社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会
2025年には熊本県の高齢者人口がピークになるとの試算があり、今後は特に高齢者のための歯科医療に力を注ぐ必要がある。
５．平成23年度ヘル歯―元気8020支援事業
東日本大震災の影響で昨年度と比べて、３ヶ月遅れでのスタートとなった。本年は、歯と全身の健康に関する地域支援として、学齢期歯科保健研修会、歯周病予防に関する指導者講習会に加えて、新規事業として、幼児、児童生徒の歯科指導が追加されている。また、歯周病ハイリスク者支援に関する医療機関連携の推進事業として、医療機関連携に関する講演会、検討会、並びモデル地域（菊池郡市、天草郡市）における連携パス評価会議を開催する。
６．第３３回九州口腔衛生学会の報告
大会テーマを「条例制定下のフッ化物利用を考える」とし、福岡歯科大学の筒井准教授、酒井元校長による基調講演を中心に開催した。
７．委員会等事業企画
・総務「くま歯キャラバン隊（仮称）」
・社会保険委員会「レセプト事前チェックセンター（仮称）」の開設
・センター・介護委員会「障害者歯科研修会」
開催予定日：平成23年12月17日（土）
８．委員会事業報告
・社会保険委員会　「シニア倶楽部社会保険研修会」開催日：平成23年10月29日（土）
・学校歯科委員会「学歯委員会・地保委員会・歯科衛生士会合同委員会」
開催日：平成23年11月12日（土）
９．各会計10月末現況
10．12月行事予定表
11．その他
○九州各県歯科医療安全対策担当者会（冨屋理事）

協　議

１．新入会員の承認（承認）
一般会員２名の入会を承認した。
２．日本歯周病学会熊本開催の受け入れ（承認）
開催時期については平成25年12月とし、運営予算については日本歯周病学会からの補助金の範囲内とすることを条件に受け入れを承諾することとした。
３．平成23年度第２回各郡市会長・専務理事連絡会議（承認）
原案通り、平成23年12月10日（土）午後3時より開催する。
４．事業税の非課税措置の存続要望（承認）
社会保険診療報酬に対する事業税の非課税措置についての要望書を熊本県知事、自民党県連会長、熊本県選出国会議員へ、所得計算の特例措置についての要望書を県選出国会議員へそれぞれ提出することとした。また、受診時定額負担の導入に反対する請願を県議会議長に対して行っていることが併せて報告された。
５．平成24年１月・２月・３月の行事予定（承認）
原案通り承認した。
６．平成24年度総務部門の事業計画（案）（承認）
原案通り承認した。
７．平成23年度特別会計熊本県歯科医師会介護者歯科実技研修事業会計収入支出予算（案）（承認）
原案通り承認した。
８．退会会員の会費及び負担金等の未納金欠損処分の承認を求める件（承認）
原案通り承認した。
９．平成２３年度通常代議員会の日程（案）
原案通り承認し、日程案に沿って準備を進めていくこととした。
10．平成23年度通常総会の日程（案）（承認）
原案通り承認した。
11．学院と柏木医院との境界確認（承認）
学院と柏木医院駐車場との境界上にあるブロック塀までを、本会が管理を行うことを条件に本会の敷地内とすることを確認し、境界確認書を取り交わすこととした。
12．火災保険の契約更新（承認）
原案通り承認し、前年度と同条件で契約を更新することとした。
13．会館の使用申込み受付（承認）
会館使用申し込みの受け付けを、使用日の３日前の午後５時までとすることとした。また、次年度の使用申し込みの受け付け開始を当年度の２月以降とすることとした。なお、この決定については、ニュースレター等により全会員へ周知することとした。
14．平成24年度九州各県学術担当者会の開催期日（承認）
原案通り承認し、平成24年11月10日（土）に開催することとした。
15．その他（承認）
○口腔保健センターの診療体制について
〔松本理事〕（承認）
患者数が増加し、木曜日・土曜日の診療が煩雑になってきたため、ケア日として歯科医師１名、歯科衛生士１名で診療を行っていた火曜日についても、試験的に木・土曜日同様に歯科医師２名・歯科衛生士４名の診療体制で対応することとした。

監事講評：片山監事、西野監事
閉　　会：小島副会長
（広報　加藤　久雄）

笑顔ヘルＣキャンペーン

雨の中でも1200名が来場

中央イベント

11月6日（日）午前11：00より上通りびぷれす広場において、熊本県歯科医師会・歯科衛生士会、熊本日日新聞社による8020歯からはじめる「笑顔ヘルＣキャンペーン」の中央イベントが行われた。笑顔ヘルＣキャンペーンは、いい歯の日にちなんで「180万熊本県民お口の健康運動」として歯の健康の重要性に関する意識の高揚と健康維持に必要な正しい知識の普及を図ることを目的としたイベントである。イベント内容としては、歯科に関するアンケート、無料歯科相談、口臭測定・歯磨き指導、人形劇、輪投げコーナー、ヘルＣ写真コンクール入選作品展示、熊本歯科衛生士専門学院PRなどを行った。今年は、昨年のストローゴルフに続き輪投げコーナーを設け、人気のくまモングッズが当たるとあって子どもだけでなく保護者の方も参加し大盛況となった。また衛生士会主催の人形劇もリニューアルし、支援事業にちなんだフッ素に関する劇を行いフッ素洗口やフッ素塗布などのフッ化物の有用性をアピールした。ヘルＣフォトコンテストで募集された「笑顔」をテーマにした作品の展示や歯科治療に関するパネル展示も行われ、足をとめて見られる方も多く見られた。一日中雨が降る中での開催であったが、来場者は1200人を超え大盛況となった。来年もさらにイベントを盛り上げ、県民の皆様の歯の健康に対する意識を高めていきたいと思う。

（地域保健　伊藤　延隆）

浦田会長による開会の挨拶

歯科衛生士会による口臭測定とブラッシング指導。今年も口臭測定のコーナーは人気。

歯科相談も人気。懇切丁寧に相談に応じる地域保健委員会委員。

日頃より疑問に思われていることを気軽に相談。身体の健康は、歯の健康から。歯の健康へ意識は、年々高まりつつある。

学院コーナーでは、小さい子も歯のクリーニングに興味。将来の歯科衛生士？

今年のはなちゃんおうちゃんの人形劇にはフッ素マン登場。
やはり子供たちには、人形劇は人気。

あいにくの雨にもかかわらず多くの方が来場。

今年は、輪投げコーナーを
設置。人気のくまモングッズ
が当たることもあり大盛況。

フッ素マンが、フッ素のむし歯予防効果を広める

景品に喜ぶ子供たち

熊本県ご当地よ坊さん

写真コンクールで
会長賞だった
園田さんも親子で
来場。

おうちゃんはなちゃん

人形劇に見入る来場者。

人　吉　ねんりんピックとスマイルフェスタ同時開催

10月16日（日）に人吉スポーツパレスにて、ねんりんピック・スマイルフェスタ歯科相談が行われた。ねんりんピックとの同時開催ということでにぎわいをみせた。北は北海道、南は沖縄まで元気の良い高齢者の方々が、人吉では囲碁をつうじて交流を深めていた。またプロの棋士も来場しており、子ども達に熱のこもった指導を行っていた。プロ棋士に負けじと歯科医師会の会員たちも75人の患者さんに対して熱のこもった指導を行っていた。感想としては元気なお年寄りが多いということだった。

にぎわいをみせた歯科相談

		小学生以下	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	年齢不詳	地域別･性別　小計
人吉市	男	11		2		1	2	3	1				20
	女	7			4		1	15	8	2		1	38
球磨郡	男							1					1
	女			1									1
その他市町村・県	男							2	5	2	1		10
	女							3	1	1			5
年代別・性別小計	男	11	0	2	0	1	2	6	6	2	1	0	男性合計 31
	女	7	0	1	4	0	1	18	9	3	0	1	女性合計 44
													合計人数 75

（瀬戸　雄行）

上益城　無料歯科健診・相談に長蛇の列

11月６日（日）午前10時より午後４時まで嘉島町のイオン熊本クレア店内において上益城郡歯科医師会主催、上益城郡歯科衛生士会協力のもと「笑顔ヘルＣキャンペーン」を開催した。無料歯科健診・歯科相談、位相差顕微鏡による口腔内細菌チェック、むし歯・歯周病に関するパネル展示を行い健診および相談者には健康手帳、歯ブラシ、歯磨き粉を配布し子供達には風船配布、くじによるおもちゃのプレゼント行った。当日はあいにくの雨であったが、開始早々から終了時刻まで大変賑わい630名程の来場者があり、無料歯科健診・相談者数（アンケート記入者）は486名に上った。本年度は健診者数が非常に多く、待っている人で長蛇の列をなし会員歯科医師８名と衛生士８名が休憩する時間も無いほどの盛況振りであった。また相談内容としては、ブラッシングの仕方、矯正、歯周病、知覚過敏、欠損補綴治療について等が多かった。

活動がかなり浸透

来場者の顔ぶれを見ていると、毎年来られている方々も多く認められこの啓発活動がかなり浸透してきているのが理解できる。次年度の対策として、歯科医師、衛生士数をもっと増員し、年々高まってくる口腔内への様々な関心事に、来場者が待たずに応えられるよう多種多様なコーナーを設置できればと思う。

（佐藤　昭彦）

八　代　子供達に人気のイベント

― 八代市ふれあいフェスタ ―

11月12日（土）午前10時～午後３時、八代市ふれあいフェスタ（主催：八代市・八代市社会福祉協議会）の会場内で、笑顔ヘルＣキャンペーン・無料歯科相談健診を行った。

やつしろハーモニーホールの３階の会議室を使って、健康増進課のヘルスアップコーナー（主に、体組成測定・血管年齢測定・骨密度測定ほか食事指導・禁煙指導・認知症状相談などの内容）の隣室で４年前から健診を行うようになった。ヘルスアップコーナーを訪れた人たちの中で、歯科のコーナー希望の方に相談・健診を行い、今年度は186名の来場者があった。今回目を引いたのは12歳未満の子供の来場者が多く、全体の55％を占める103名の来場があり、会場では歯科健診、ブラッシング指導後のバルーンプレゼントやおもちゃのくじ引きコーナーのところに子供たちの人だかりができていた。

また歯の衛生週間事業に比べると、主に障がい者や介護福祉関係の団体が集まるということもあり、60歳以上の方々の割合も多かった。歯科相談では熱心にご自分の口に対する質問をされる高齢者の方も多く、その意味でも、この催しをこの時期に開催する意味があると思われた。

親切丁寧に説明を行う

（鶴田　善久）

天　草　200人の来場者で賑わう

― 天草市健康フェスタ ―

11月12日（土）午後１時より「天草市健康フェスタ2011（東地区）」との共同開催で「ヘルＣキャンペーン」を行なった。

歯科健診、相談、ブラッシング指導、フッ素塗布の各コーナーを設置し、むし歯及び歯周病予防等の歯科全般にわたり啓発を行なった。来場者には口腔内健診を行うことで現状を把握し定期受診の大切さを理解して頂く場となった。会場は他に血圧測定、骨密度測定さらに「禁煙相談」コーナー等が設置され、健康フェスタならではの事業となり、今年は来場者数が200人を超え健康に関する認識の高まりを感じた。行政と共同で開催し３回目となり、来場者数も多く歯科的健康の重要性を啓発する大事な事業として確立してきた。

スタンプラリーも人気

（小田　哲也）

宇　土　いつもより多くの来場者

11月５日（土）に宇土シティー内において宇土郡市歯科医師会による歯の衛生週間事業「笑顔ヘルＣキャンペーン」を開催した。午後２時から５時まで会員歯科医師８名と歯科衛生士４名の参加で行われた。例年よりやや少ない人数だったが、会場のすぐとなりで宇土シティー誕生祭が開催されていて、熊本のタレント英太郎のショーがあっていたおかげで、多くの家族づれや買い物客が立ち寄っていつもより多くの来場があり人手が足りないくらいの賑わいであった。

口臭測定も人気だった

前半と後半の２交代制で担当し、歯科相談、ブラッシング指導、無料フッ素塗布、口臭測定検査、位相差顕微鏡による細菌検査、パネルの展示、口腔ケア商品の無料配布などを行った。とくに、口臭検査や位相差顕微鏡は大人に人気で多くのかたが興味を持たれて検査を希望されていた。

相談に丁寧に答える森義和会員

今回はお店の誕生祭にあやかっていつもより多くの方の来場があり衛生週間事業として充実した一日であった。来場者数105名。もっともっと来場者を増やすために会員一同知恵や工夫を出し合ってこれからもキャンペーン事業を続けていきたいと思う。

（坂口　泰子）

水俣・芦北　口の健康の大切さをアピール

11月19日（土）、水俣市主催の健康祭りが開催され、本会も「笑顔ヘルＣキャンペーン」の一環として参加した。衛生士会との協力のもと、無料歯科健診、口臭測定、ブラッシング指導、無料フッ素塗布、妊婦健診、クジによるおもちゃの抽選会などを実施した。また、親子を対象とした「きらきら歯ッピーコンテスト」の優秀家族の診査、「8020運動」該当者の選考を行った。歯ッピーコンテストの受賞者には賞状と記念品の贈呈が市から行われ、8020達成者には賞状と記念品の贈呈を行った。無料歯科健診を受けた来場者のほとんどが口臭測定を受けており、口臭に対する関心の高さがうかがえた。また来場者には歯ブラシ、歯磨き粉が配布され、親子連れや子どもたちにはクジのおもちゃがプレゼントされ喜ばれていた。健康祭りではスタンプを集め、抽選会を行っていた。歯科医師会の他に医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会などの地域医療に携わる団体が行う催しを来場者は回り、スタンプを集めていた。

一人ひとり丁寧に健診

子どもから高齢者まで幅広い年齢の市民で賑わい、例年以上に盛り上がった健康祭りであった。歯科医師会として今後も口の健康の大切さをアピールしていきたいと思う。

（伊藤　延隆）

熊本の偉人

「維新の若きサムライ、一井正典（いちのいまさつね）とその人脈たち」

＝日本歯科界のルーツを探る・その２＝

日本歯科医史学会会員　**松本　晋一**

４、サンフランシスコからロスガトスへ

一井正典の恩師であるダニエル・ヴァンデンバーグ先生（図７）は1825年ニューヨーク州の生まれ。妻のエリザベスと結婚後、1864年にサンフランシスコ（SF）に移住し1869年頃ゲィリイ通りに開業していました。後の東京歯科大学の創設者となる高山紀齋（図８）は、SFに留学中の1873年頃にヴァンデンバーグ先生（ヴ先生）に歯科の診察を受け、先進的な西洋新科学（歯科医学）の日本へのニーズを感じてヴ先生に師事、入門７年後にカリフォルニア州試験にパスして1878年に日本に帰国しました。正典より12年前にヴ先生と出会った最初の弟子となる人物です。彼はヴ先生の教えに基づき「保歯新論」を著し、1890年に高山歯科医学院を創設、1893年のシカゴでの第２回万国歯科会議の際には15年ぶりに恩師と再会を果たしています。

図７　ヴァンデンバーグ先生

図８　高山紀齋

正典が1885年の夏にヴ先生に農夫として雇われたのは、ヴ先生がSFでの開業を引退する前年でした。そこはサンタクララ郡のロスガトスという村（前回写真参照）で、近くのサンノゼからロスガトスまで1887年に鉄道が敷かれるまで、ここは一山村に過ぎず、例えば1908年に鹿児島本線の開通した人吉の町と同様、この鉄道の開通で、現地の野菜や果物、缶詰や木材の積み出しなどで賑わっていたようです（図９）。

図９　木材景気の賑わい

ここでの正典の役目はヴァンデンバーグ家の20エーカーの農園や畑の仕事です。彼は最初、農業で身を立てるつもりでしたので、江島や親戚宛ての手紙にも米国の農業に関する情報を盛んに発信しています。人吉に向けてスイカやかぼちゃの種、飼料用のアルハルハ草、樹木の種（レッドウッド、ヤロ―カスト）などを送り、逆に日本の南天やサザンカ、桃、梅、銀杏などを送ってもらい屋敷の廻りに植えています。今回、当時日本に送った苗木が人吉町の各所にしっかりと根を生やしていたことが鹿児島大学の調査で判りました（図10人吉西小の偽アカシア）。

図10 正典が送った偽アカシアの木

しかし、正典は1886年の夏ごろから次第に医学への興味を持ち始めたようです。ヴ先生はどちらに進学するにしろ、まずサンノゼのノルマルスクール（図11）で一般教養を学べと午後からの汽車通学を許可していますし、同時にミスターテンプル（スタンフォード大学を創立したスタンフォードの息子の家庭教師をした人）にも英語を学ばせています。

図11　サンノゼノーマルスクール

実はヴ先生に正典とほぼ同時に雇われ、寝食を共にした日本人がもう一人居たのです。彼は正典より３カ月前にヴ家に雇われた“片山敦彦”（図12）という人物で、1885年４月頃までの約２年間寄留していたとおもわれます。後にインデイアナ歯科大学を出て歯科医になり明治24年に東京で開業しています。

図12　片山敦彦

この二人を育てたヴ先生の家はロスガトス村の北東でサンタクルーズ山脈の麓、グレン丘陵の中腹にあたり周辺の村全体が見渡せるとても景色の良い所（前回写真の山の右下）

図13　ヴァンデンバーグ家旧居(2011年９月)

です。現在、ヴァレリーザッカーさんがお住まいのその旧居は126年間の風雪に耐えて、この９月の７年振りの訪問の時にもしっかりとその姿を留めていました（図13)。

５、志をフィラデルフィアで

正典は1888年（明治21）の夏には歯科医学への道を志します。その決定の経緯は「小生歯科医志願ノ理由書」（図14）という当時の手紙にあり、「まず医業を起こし、その資金を以てその後に殖産牧畜を起こし、そして我が九州に高等教育学校を作る。その目的は日本とやる事も考え方も違う、まる反対の米国のような本物の文明を我が東洋にも作りたい。そのためには教育が大事だ」として、当初の目的である歯科手術を学ぶための190ドルの学資金を送るよう江島五藤太宛てに借入の手紙を書いています。しかし初期の農学の目的が医学に変わり、その変身はまるで“人面獣心の気違い”と言われても仕方がないと記しています。恐らくそれほどにも米国の文明（＝歯科医学）を日本に持ち帰り、その成果を以て殖産を起こし、貧しい若者の教育費を補助し、学校に入れて東洋文明が米国文明に負けないよう教育したいと念じていたのです。その精神的背景には恐らくキリスト教があり、その教えと考え方は美山貫一そしてヴァンデンバーグ他からの薫陶に依るものが大きいと考えられます。

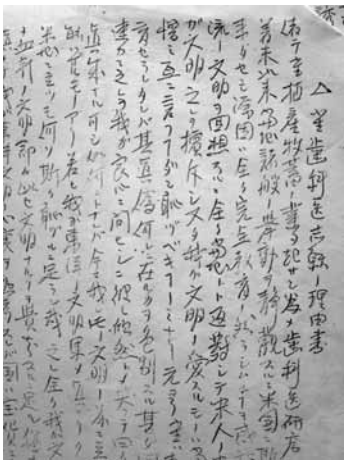


図14　歯科を志す理由書

以上のような経緯から医学への道を志し、恩師の勧めもあり当時東海岸の大都市フィラデルフィアに在るフィラデルフィア・デンタルカレッジ（PDCと略、図15）の入学を目指し、その試験直前までヴ先生の自宅にて語学、教養、化学、解剖、歯科理論など時間を決めて各種の講義を受け受験に備えました。

図15　入学したPDC

そして1889年（明治22）２月SFから１週間ほどかけて大陸横断鉄道でフィラデルフィアに到着、PDC入学の筆記及び面接試験を受けます。試験ではこれまでの努力が実り、特に口頭試問の成績が良く予科１年は免除され第２学年からの入学を許可されました。同年３月からPDCに入学。途中、卒業までの２年間には進級や学内試験を受けるための学資にも窮し、あやうく退学や休学になりかけようとしますが、人吉からの支援や81名のクラスメートらの募金援助もあり、翌年には成績優秀により学費免除と助教師補の資格を与えられ、ついに1891年２月筆頭の成績で卒業、２等金賞を授与されます（図16)。大学からは助教師として大学に残ることも勧められますが、帰国のことも念頭にあって助教師を兼ね、28歳で現地チェリーストリートでの開業を決意します。このフィラデルフィアは米国建国当初からデラウエア川に面した商工業が盛んな街で当時東海岸ではトップクラスの大都市でした。最近の米国映画ではロッキー、フィラデルフィア、シックスセンスなどで有名です。その地で日本人として米国本土での最初の開業医そして米国歯科医師会会員となるのですが、外国人でありながらもその開業は評判を呼び、同業者の妨害をうけるほどの臨床手腕を有したそうです。そのことは帰国後の講演「ドクトル一ノ井正典君演説筆記」に当時の米国開業時の様子が詳しく記載されています。また日本から当時この町に留学していた岩崎久弥、福沢桃介など数多くの日本の若者たちと知り合っています。

図16　卒業時の正典

翌1892年には西海岸のオレゴン州ポートランド歯科医師会からクラウンブリッジの教授として招聘を受け、日本への帰国に向け"渡りに船"とそこで2年ほど教授を兼ねポートランド市内デークムビルに開業します。

（続く）

シリーズ　一般社団法人に向けて　その2

— 新法人設立検討臨時委員会 —

代議員会制・総会制選択のメリット・デメリット

先月号では、一般社団法人移行時の大きなテーマとなる代議員会制・総会制の特徴と比較について掲載いたしましたが、今回は双方のメリット・デメリットについて取りまとめてみました。前回ご報告しましたように都道府県歯科医師会のほとんどが代議員制度を目指していることもあり、執行部では、代議員会制を選択する方向で検討している段階ですが、組織にとっての重要な要件ですのでご精読ください。

代議員会制	
メリット	デメリット
1．開催に必要な定足数（過半数）が確実に確保できます。 2．正会員は出席しなくても自分の意見等を代議員に負託できます。 3．代議員が所属郡市会の意見を集約して意見を述べることができます。 4．歯科医師会の活動に積極的な会員を代議員に選任することにより、代議員会が活性化します。 5．事務的経費がかかりません。	1．間接民主主義的であり、会への協力意識が薄れやすくなる可能性があります。 2．会員の直接の議決権がなくなります。 3．代議員でない会員は代議員会に出席しても意見が述べられません。 4．正会員は直接、役員を選挙することができません。（ただし、会長予備選挙を導入すれば、正会員が会長候補者を直接選挙することができます。）

総会制	
メリット	デメリット
1．直接民主主義的であり、会への協力意識が出やすくなる可能性があります。 2．正会員は自ら総会に出席して発言することができます。 3．議案を自分の意思で議決できます。 4．正会員は直接、役員を選挙することができます。	1．開催に必要な定足数（過半数）の確保が必要です。（ただし、会議を成立させるために書面表決または委任状による方法があります。） 2．出席者少数の場合、形骸化が危惧されます。 3．出席者多数の場合、会場確保が困難となります。 4．所属郡市の事情を考慮した意見が出ない場合があります。 5．事務的経費や事務的作業が増大します。 6．地理的な問題から出席率による郡市間の格差が生じます。 7．委任する方法にした場合、1人が何名もの権利を得る可能性があります。

※≪参考≫過去3年の総会出席率
平成23年3月5日…5.0%　平成22年3月20日…4.5%　平成21年9月19日…5.0%

自助努力と公助・共助

― 九州各県医療管理担当者会議 ―

学術委員会

10月１日（土）、本年は熊本県が担当であり熊本県歯科医師会館において九州各県医療管理担当者会議が開催された。はじめに、日本歯科医師会・溝渕常務理事をお迎えし会議に期待する事案や報告などがなされた。つづいて小島副会長・浦田会長の挨拶に始まり本県学術担当の椿理事が座長に選出され会議が始まった。

会議の内容については、日歯・溝渕常務理事が社会情勢や経済状況の変化に伴い①措置法の行方と厚労省との問題、②今後に適応した青申（青色申告）会について、③歯科衛生士・助手の離職や再就職についての問題、④医療安全に関しての問題、⑤社会保険制度改革について現在日本歯科医師会が重点的に取り組んでいること。特に病院入所施設における口腔ケアと歯科医師の指導のもとでの専門的口腔清掃についての違いを次期医療制度改革の際に反映していけるように活動していることなどの報告がなされた。

次に、九州各県から警察歯科医会の活動や情報提供書の書き方講演会およびＢＬＳ（Basic Life Supportの略：救急医療の基本的な処置）の講習会を低予算で開催できたこと、最後に本県の安心安全歯科医療推進制度の報告などがなされた。

主な議題・協議は以下にあげる。

① 労使紛争に関して

相談窓口労使についてのトラブルの有無と各県歯の相談窓口の有無の報告がなされ、新たに労務士を迎えた他県歯科医師会はこれまでにない新たな労使紛争に備え有意義な対応がなされたことなどの具体事例をあげられ、労使のトラブルの回避について各県歯レベルでの新たな対応の必要性と会員の各自のトラブル回避と防止のための自助（労使関係の講義受講など）を行うことの必要性を痛切に感じた。

各県の明確な目標を確認

② 歯科衛生士・歯科助手の再就職事業

歯科衛生士の就職に関しての各県歯での対応で、他県では県歯と卒業生との座談会の開催や本県のリカバリー研修の報告協議がなされた。衛生士不足は各県共通しているようで、労使双方の軽度なトラブルをなくし歯科衛生士の再就職支援事業を展開し、また衛生士学校に入学する対象年齢の高校卒業予定者向けに講演を展開しているなどの報告協議がなされた。この衛生士向けの講演会については受講者数の低迷などの問題がありより実践的で展開しやすい形での講演会開催が課題となった。その他再就職率や再離職率に関しての報告や医院側の受け入れ態勢の問題（例：訪問歯科での採用を検討する）を今後の検討として提案された。

③ 医薬品安全情報と使用事故防止について

鎮痛剤による死亡例の報告や牛乳アレルギーによるむし歯予防ペースト使用による事故（アナフィラキシーショック）の事例・麻酔によるトラブルなどの事例さらに殆どが医療管理関係の講演会に出席されない先生方のトラブル発生の多さ

などが目立つとのユニークな報告がありその対応の困難さが浮き彫りになった。

④　医事問題・医院経営

医療管理研修会についてのリーフレットやマニュアル、本県からは医療安全管理対策書の資料提示がなされ会員への医療安全危機管理の向上と喚起がなされていることが紹介された。

⑤　防火・防災マニュアル・大規模災害時の地域連携

防災・大規模災害等に関しては緊急時マニュアル・警察歯科医師会にて有事の際事に当たるように対応しているが他業種との連携は想定しておらず、各県歯の早々の対応が急がれる。

⑥　税務署・税務調査に関して

医療機関への税務調査に関しては佐賀県のアンケート調査から会員への税務調査での対応方法マニュアルが必要と感じられ各県歯会としての対応を今後の課題とした。

⑦　医療広告・求人と就職説明会に関して

医療広告・院内広告は法規に照らし合わせ各県保健所・各県歯科医師会での対応を行っている。しかし実際には裁定審議会等でどの程度であれば医療広告として相応しいものであるか、どの程度であれば抵触するのかを決めなければならないため、今後各県歯会で医療広告のガイドラインを作成する必要性を認識できた。

⑧　医療苦情に関して

各県対応方法や対応委員について話し合いがもたれ本件に関してはニュースレターという形で個人情報に触れない範囲で情報の共有を図り「同じ轍を踏まない」よう、また患者に関しては適切なセカンドオピニオンを図るべく高次医療機関と緊密な連携を図り、再発防止に各会員の自助努力と公助・共助が必要であるとの認識を再確認した。その他未入会の先生方の苦情例も誠意をもって事にあたり医療不信に繋がらないように努力している

日歯の基本姿勢を示す溝渕常務理事

こと等の説明がなされた。

さらに日歯への要望では、

①　救急薬品常備に関して

現在薬事法により個別購入しなければならず現状は日本歯科医師会・各県歯として一括購入配布は困難で会員個別に常備していただくとの回答を得た。

②　消費税増税に関して

今般の消費税増税の論議の中で診療報酬改定の際、できればゼロ（０）税率、患者負担増にならないように厚労省に要望していく日歯の基本姿勢を確認した。

最後に、次年度担当に宮崎県歯科医師会を決定し各県がさらに発展した協議や報告がなされるべく明確な目標を確認し会議は終始活発な討議のうちに終了した。

（学術　園木　　誠）

【自助】自分の責任で、自分自身が行うこと。

【共助】自分だけでは解決や行うことが困難なことについて、周囲や地域が協力して行うこと。

【公助】個人や周囲、地域あるいは民間の力では解決できないことについて、公共（公的機関）が行うこと。

「生きる力」をはぐくむために

― 第75回全国学校歯科保健研究大会 ―

学校歯科委員会

10月20日（木）、21日（金）愛媛県松山市で『「生きる力」をはぐくむ歯・口の健康づくりの展開を目指して』ということをメインテーマに第75回全国学校歯科保健研究大会が開催された。本県からは浦田会長、大林理事、田畑委員、勇委員、河原の計５名が出席した。

１日目は基調講演として明海大学の安井利一学長よりメインテーマにそって、今回改訂された文部科学省学校歯科保健参考資料の改訂のねらいについてこれまでの歴史を振り返りながら説明があった。特に学童期は自立的健康づくりへの移行期でもあり生涯にわたる健康管理能力の育成にきわめて重要な時期でもある。子供たちの健康課題の多様化と適切な対応を図る上からも学校歯科医の広範かつ専門的な支援が望まれていることを講演された。その後、シンポジウムでは、文部科学省の教育課の方から「自らできる！わかる！」を実践するためには「生きる力」の育成に直結した教材である歯・口の健康づくりの諸活動を推進し、自立的に健康問題を解決し、行動できる子供の育成を図らなければならいということを講演された。その後、滋賀県と福岡県の各小学校での具体的な取り組みが発表されたがやはり養護教諭と学校歯科医が家庭や地域とより密接に連携し取り組む必要があると思った。

各界の関係者が集う全国大会々場

２日目は領域別協議会で保育所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援教育部会に分かれて各委員が講演を聞いた。

この「全国学校歯科保健研究大会」は、平成25年に熊本県で全国大会が開催されることになっており、会場の規模や内容、懇親会など各委員も写真などを撮って下準備にとりかかっていた。

帰りの飛行機が直前で欠航という不測の事態に見舞われたが船と新幹線を乗り継いで無事に帰路に就いた。

（学校歯科　河原　正明）

お知らせ

※年末年始の事務局休業のお知らせ

仕事納め平成23年12月28日（水）午後５時・業務終了

年末・年始休業期間平成23年12月29日（木）～平成24年１月３日（火）

仕事始め平成24年１月４日（水）午前８時30分・業務開始

学校歯科医の役割

― 第61回全国学校保健大会 ―

学校歯科委員会

10月27日（木）、28日（金）静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）にて、第61回全国学校保健研究大会が開催された。

「生涯を通じて心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進―自ら健やかな心を育む子どもの育成―」という主題のもと全体会が始まり、学校保健、学校安全の功労者に対する文部科学大臣表彰が行われた。本県からは八代の坂井　満会員が、長年にわたる学校保健の普及と向上にご尽力された功績に対して受賞された。次に、全体会終了後ホテルセンチュリー静岡にて第61回全国学校歯科医協議会が行われた。

「学校歯科医がかかわる食教育の展開～食の自律（立）と五感の育成を支援する～」と題してシンポジウムが開催された。学校歯科保健活動での食教育のルーツを探っていくと、昭和12年に出版された「日本食養道」という書の中に、学童を対象に栄養学的にバランスの取れた給食をよく噛み、味わって食べることを指導し、これを実践したことにより、児童の健康状態が改善したということが記されていることを説明された。その当時から噛むことと健康の関わりが証明されていたと話された。尚、「地域における食育の推進」の一項目として「歯科保健活動における食育の推進」が盛り込まれていること、学校保健活動の大きな柱になっている「生きる力」の育成にかかわってくることから学校歯科医は、これらの活動を支援・推進していく中心的な役割を担っていることを説明された。

充実した大会となった

その他、噛ミング30（カミングサンマル）というキャッチフレーズが、8020運動同様各職種連携して推進されることを願っていると話された。

専門的な立場から子供たちのために協議している姿を拝見でき、有意義な２日間であった。

来年、第62回開催は本県、熊本の地にて、11月８日、９日の両日、この大会が行われる予定だ。

次期開催県として浦田会長より「多くの皆様のご参加をお待ちしております。」と挨拶があった。子供たちのために、熊本県の開催関係者一堂力を合わせ、より一層充実した大会が開催されるよう皆様ご協力のほどよろしくお願いいたします。

（学校歯科　宇治　信博）

生涯研修の国民への還元

― 九州各県学術担当者会 ―

学術委員会

10月29日（土）長崎県歯科医師会館において九州各県学術担当者会が行なわれ、本会からは椿学術担当理事と添島が出席した。長崎県歯科医師会、田川専務理事の開会に続き、同県の許斐会長からの挨拶と２週間前に長崎で開催された九地連での各県の参加協力に対するお礼が述べられた。続いて日本歯科医師会、中島信也常務理事より挨拶があった。

各県からの出席者紹介の後、座長に長崎県歯、村橋秀夫学術担当理事、副座長に本会の椿理事が選出された。はじめに中島常務理事より日歯報告があり、Ｅシステムの活用状況や各県ごとの日歯生涯研修事業の修了達成者数を示された。また生涯研修事業の目的である研修成果の国民への還元と、本会の学術団体としての評価の向上を推進させるためには大学、学会とのさらなる連携構築が必要であると述べられた。

続いて、（１）平成23年度学術関係事業計画および予算（２）各県提出議題（３）日歯への質問、要望について協議が行われた。各県より提出された協議題は14題であったが重複した内容があったため９つに絞られた。議題は（１）学術事業と歯科業者との関わり方（２）歯科と医科（全身疾患との関係）および他団体との連携（３）学術講演会の企画、運営（４）生涯研修の単位取得向上の取り組み（５）スタッフ対象研修会（６）Eシステムの運用（７）講演会、研修会の記録（８）警察歯科医科会への取り組み（９）スポーツ歯科との関わりが挙げられ、それぞれについて各県の対応や意見が出された。その中でも歯科と全身疾患との関わりについては、テレビや新聞等でテーマとして取り上げられる頻度が増えていることから、各県とも講演会や市民公開講座の開催および媒体を用いての会員、患者への情報提供などの様々な取り組みをされており、今後の本会での企画立案に際しての参考になるものが多数あった。また生涯研修単位取得の向上に関して本会の安心、安全歯科医療推進制度についての質問と、本制度を参考にしているとの意見をいただいた。また講演会の記録については、各県とも講師の了解が取れた場合、ビデオ撮影をして郡市への貸出を行なっていた。宮崎県ではネットを使用し、遠隔地でのリアルタイムな講演会視聴の取り組みをされているとの事だが、ネット環境の不安要素もまだあるとの事だった。しかし今後、面積の広い本県においても導入の検討課題になるのではないかと思われた。

安心・安全歯科医療推進制度を説明

次に各県からの日歯への質問、要望は、（１）大規模災害への対応（２）歯科と全身疾患との関わりに関するDVD、PCデータ作成（３）Ｅシステムの改善（４）スポーツ歯科の今後の展開について提出され、それぞれについて日歯中島常務理事から回答された。特に今回の大震災での混乱を受けて身元確認のためのチャートを統一化することが必要で、各都道府県ごとに災害時の対策本部を迅速に立ち上げられるような仕組み作りをしなければならないと述べられた。

最後に椿理事より次期開催県挨拶があり、閉会した。各県より活発な意見交換がされ、非常に有意義な会となった。

（学術　添島　義樹）

各県とも独自の医療処理システムを確立

― 九州各県歯科医療安全対策担当者会 ―

医療対策委員会

10月29日（土）午後２時より福岡県歯科医師会館において平成23年度九州各県歯科医療安全対策担当者会が開催された。本県からは医療対策委員会冨屋理事と岡田が出席した。

福岡県歯の小島浩一郎理事の開会の辞で始まり、福岡県歯長谷宏一会長及び日歯溝渕健一常務理事より挨拶があり、その後座長・副座長の選出が行われた。

まず日歯溝渕健一常務理事より

- 医療安全ネットワーク事業について
- 医療事故防止対策刷紙の改定について
- 医療紛争時の日歯の仲介について

上記の日歯報告後、協議に移行した。

［協議内容］

⑴　平成23年度各県歯科医療安全対策関係事業計画、並びに予算について各県より報告

⑵　各県提出協議題について

1　薬剤関連の医療事故について

各県とも過去３年間で重篤な事例はなかった。

2　BP製剤の副作用に関連した医事紛争について

福岡県で１事例が発生している。BP製剤は今後訴訟が起こる可能性が大きいため診療開始前に積極的な問診が必要である。

3　弁護士の活用と対応について

本県は事例について出来る限り委員会で対応しようという姿勢であるが、それに対し福岡県では積極的に弁護士を活用されていた。

4　県歯に歯科医院の紹介依頼があった場合について

各県とも歯科医院の紹介は行っていない。

5　前医批判対策について

各県とも折にふれ指導を行っているがなかなか効果が上がっていないようだ。

本県は、できる限り委員会で対応

6　言いがかり的苦情に対する逆訴訟について

福岡県においては明らかに当該会員に過失が認められず、患者からの言いがかり的要求に対して債務不在確認訴訟を起こした事例があった。

7　医師賠償保険の使用頻度について

各県とも使用頻度については様々であったが、神経麻痺の事例はそれに伴う慰謝料や後遺症障害補償により高額になることが多いようである。

8　医療トラブルと警察との協力について

暴力団については最近の法改正で行動しづらい状態だが、それよりモンスターペイシェントの方に注意が必要である。

9　医療苦情・相談担当者の後継者育成について

仕事の性格上各県とも苦労しているようだ。

福岡県からは人材を各郡市歯科医師会から推薦する方法を取っている。

10　医療賠償責任保険の加入について

佐賀県と沖縄県以外はほぼ100％の加入率であった。

11　医事処理のシステムについて

各県とも様々な医事処理のシステムが

確立されている。例えば本県のシステムは事例に積極的に介入し解決を図るのに対し福岡は主に後方支援を中心に行っている。

⑶　日歯への質問および要望

主に「歯科医療安全対策ネットワーク事業」についての質問および要望であった。

⑷　統一フォーマット事例報告

各県より舌神経麻痺事例、インフォームドコンセントに関する事例、インプラント失敗事例、誤抜歯事例などの事例報告があった。以上、様々な意見交換があり有意義な協議となった。

また今回は、福岡県歯の顧問弁護士２人に参加いただき各協議において専門的見解がとても参考になった。

最後に次回開催県（長崎県）の挨拶があり福岡県歯福田真一郎理事の閉会の辞で終了した。

（医療対策　岡田　長久）

①今もっとも関心のあることは何ですか。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

一般会員

岡﨑　信也
（オカザキ　シンヤ）

熊本市城南町
東阿高21-2
おかざき歯科クリニック

①院内従業員の採用と教育について
②患者の求めていることを充分に汲み取って、診療計画をたてていくこと。
③特別なことを行うということはしないが、患者個々に対峙した診療を目指します。
④歯科矯正についてもっと知識を高めていきたいと思っています。

泉　　朝望
（イズミ　アサミ）

熊本市山室5-6-7

歯ならびの歯医者さん

①３．11で被災された方の口腔ケア、口腔管理について。
②医院にいらっしゃる方々の訴えに可能な限り答える事。
③カウンセリングを大切にしていきたいと思っております。
④医院にいらっしゃる全ての方に対し、真摯に対応していきたいと思います。

来年も元気で参加出来る様に

― シニア倶楽部 ―

総務・厚生委員会

10月29日（土）熊本ホテルキャッスルにて23年度シニア倶楽部が開催された。今年は43名が参加され、記念写真撮影の後、牛島理事の司会進行のもと、小島副会長の開会の辞で懇親会が始まった。はじめに浦田会長より「多くの先生に参加いただきありがとうございます。会の運営はスムーズに進行しており、先生方のご協力に感謝いたします。」と挨拶があった。会務報告では、公益法人化については一般社団の方向で進行していること、受診時定額負担の件について報告とお願いがあった。

次に参加者を代表して中根俊吾会員（熊本市）より挨拶があり、健康長寿の秘訣などを述べられ、来年もこの会で皆様と元気でお会いしたいと結ばれた。続いて、日本歯科医師連盟前会長であった堤直文会員（熊本市）より就任中のご理解ご協力に対して、お礼の挨拶があった。

その後、堀川義治会員（熊本市）の乾杯により、宴が始まった。堀川会員は、65歳より連続してこの会に出席されているとのことである。しばしの歓談のあと、寿賀会員へお祝いの記念品贈呈があり、代表して青山雅子会員（熊本市）が心温まるお礼の言葉を述べられた。今回の寿賀会員の先生は別表の通り。

しばしの歓談の後、松本晋一会員（人吉市）により一井正典先生についての紹介もあり、その後、良い具合にアルコールもまわってきたころ、カラオケタイムが始まった。今回のトップバッターは、武末憲一会員（人吉市）であった。和やかな時は流れ、多くの先生にカラオケに参加いただき、あっという間に時は流れた。最後に中島副会長の万歳三唱、渡辺専務理事の閉会の辞をもって懇親会は終了となった。

参加いただいた先生方に感謝すると共に、来年も多くの先生の参加をお願いいたします。

郡市名	氏　名	寿賀
人吉市	唐見　貞喜	卒寿
熊本市	甲斐　文郎	米寿
荒尾市	龍野　　毅	米寿
八代	井手尾靖子	米寿
水俣・芦北郡市	宮島　清子	米寿
熊本市	野村　雄幸	傘寿
宇土郡市	森　　一	傘寿
玉名郡市	北田賢次郎	傘寿
菊池郡市	中川　博公	傘寿
熊本市	上田　隆一	喜寿
熊本市	出口　瑞男	喜寿
熊本市	本田　治夫	喜寿
八代	犬塚　隆雄	喜寿
熊本市	青山　雅子	古希
熊本市	河上　　正	古希
熊本市	堤　　直文	古希
熊本市	元島　博信	古希
山鹿市	髙水間　潤	古希
八代	坂井　　満	古希
人吉市	武末　憲一	古希
球磨郡	中原　孝典	古希
天草郡市	渋谷　征機	古希
天草郡市	藤本　　豊	古希

※H23．3．31付けで計算

（総務・厚生　池嶋　由希）

咬合の大切さを再認識

― 日歯生涯研修DVDセミナー及び会員発表 ―

学術委員会

穏やかな秋晴れとなった11月13日（日）、約100名の会員の参加のもと、熊本県歯科医師会館４階大ホールにて、日歯生涯研修DVDセミナー及び会員発表が開催された。小島副会長より開会の挨拶後、早速DVDの視聴が行われた。本年は「欠損歯列の咬合を読む」～咬合診断と介入方略～と題して、明海大学歯学部臨床の鈴木尚教授の講演が開催された。

臨床にとって咬合はなくてはならない部分であり、どの分野にも関与していると明記するべきであるとの考えを述べられた。そして様々な臨床例を供覧しつつ１歯１歯の位置、下顎位、下顎運動のそれぞれの異常と診断のポイントやそれにまつわる臨床症状と対処方法までを詳細に説明された。

続いて３名の会員の発表が行われた。

『優しい歯科医院を目指して』

合志市ご開業　伊藤明彦会員

はじめに、医療相談の多くは説明不足や医院の対応に起因しており、患者へ優しい（易しい）説明を心がける事の重要性を訴えられた。一通り説明が終わった後、患者の理解を得た上で最良の治療方法（患者の希望を踏まえた）を話し合いで決めていくといった伊藤歯科医院での具体的な流れを説明されると同時に、スタッフとのコミュニケーションがポイントであると述べられた。

『医院の総合力と学術研修』

熊本市ご開業　松永　久会員

サービスとは“相手のために気を配って尽くすことである”と定義され、これは『人の力に依存するためどうしてもバラツキが生じてしまうものである』とされ、そのサービスの事前期待を実績評価が上回れば“聞きしに勝る”となりリピーターとなるがそうでなければ期待外れとなると述べられた。そして、松永歯科医院での来院患者の流れや歯科医療の型→医療サービス形態そして医院のシステム構築と順を追って説明がなされた。最後に“働く”事は“働楽”ことに通じるとメッセージされた。

『歯周病患者におけるインプラント治療』

熊本市ご開業　村上　慶会員

開業後の歩みを振り返りかえると、良く噛めるためと咬合崩壊を抑制したいとの思いから、歯周治療に力を入れると共にインプラントも手掛けるようになった。歯科医師のみならず歯科衛生士や歯科技工士との教育連携を様々な工夫を凝らしながら行ってきた経緯を臨床例を提示し述べられた。またマーケティングとマネジメントの２つのポイントをバランス良く手掛けていく事と、最終的にはスタッフの仕事観や医院の理念さらに院長の人間性や人生観のあり方が重要であると述べられた。自分の力で豊かな人生を築く考え方・行動の癖を身に付けられるか否かがポイントとなると締めくくられた。

講演終了後、質疑応答があり、幅広い内容の活発な意見交換が行われた。最後に椿学術担当理事より講師の先生方へ感謝状が贈られ終了した。

（堀川　　正）

郡市会だより

市民へ被災地での活動を報告

― 被災地での歯科からの報告 ―

菊池

歴史に残る大災害となった東日本大震災において、いろいろな職種の多くの方々が救援・支援活動を行ってこられております。今回、大震災での歯科医師の活動を一般市民に報告する機会がありましたのでその内容を記します。

10月16日（日）午後２時から菊池市泗水町の泗水ホールにおいて菊池郡市医師会主催の「東日本大震医療支援報告会」が開催されました。「東日本大震災JMAT報告」医師会川口英敏氏、「被災地復旧時の保健活動」菊池保健所長上野達郎氏、「国立病院機構における心の支援活動～菊池・琉球病院合同チーム～」国立菊池病院長高松淳一氏、「被災地派遣を通して考えた安心・安全なまちづくり」合志市保健師八木美保氏の４名からそれぞれ被災地での実際の活動内容が報告された。その後、菊池郡市歯科医師会の伊藤明彦会員（合志市）から「被災地での歯科からの報告」という内容で発表して頂きました。伊藤会員は、５／28（土）から６／３（金）まで県歯会５名の会員と宮城県で「ご遺体身元確認作業の協力」ということで出動され、そのときの活動状況を市民の方々に報告してもらいました。作業に至る経過やそのときの状況、歯科治療の痕跡で確認作業を進めて行ったことなどを述べられ、「今回の大震災での多くの人たちの手助け、作業を通して人と人とのつながりを強く感じた。」という内容でまとめて頂きました。

確認作業の報告をされる伊藤会員

主催した医師会からは、「歯科がこのような活動を行っていることを初めて知った。貴重な話を聴かせてもらいました。」との評価を頂いた。市民の方々にも、別な面での歯科医師の活動が周知されたことと思います。忙しい中に、報告して頂いた伊藤明彦会員には紙面を借りてお礼申し上げます。

（荒木　　靖）

新入会員も参加

― 臨時総会 ―

玉名

10月28日（金）司ロイヤルホテルにおいて午後６時30分より玉名郡市歯科医師会臨時総会が行われ玉名郡市会員33名の出席があった、まずは開会に先立ち先日他界された地元歯科商店さんの小出透氏に対して黙祷を捧げた。その後冨永会長の挨拶で総会が始まり、杉尾会員の司会進行のもとまずは、会務報告（平成23年度上期）から会長・専務会議、代議員、評議員、国保委員会、等の報告が行われた。

次に議題に移り前年度の玉名郡市歯科医師会会計決算ならびに共済互助会、連盟、KDMU等の決算報告があり会員に承認され、会計監査報告も行われた。

協議に入り、３月の東日本大震災に対する義援金の会計に関する協議や報告、今回郡市学術委員会にて作成した歯周病の啓蒙ポスターの取り扱いに関する協議が行われた。その他共済互助会費の生前給付の期間短縮に関して協議が行われ次回の総会までに協議するという事であり、無事閉会した。

頼もしい新入会員

その後場所を移動して懇親会が行われ、新入会員で南関町に開業された福地正貴会員の紹介があり「本会発展の為に頑張っていきたい」との挨拶があった。そのあと酒を飲みかわし散会となった。

（山本　浩喜）

郡市会だより

ハイヤで華やかに

― 創立80周年記念式典 ―

天草

ようやく秋の気配が感じられるようになった10月22日（土）午後５時より天草シーサイドホテルにおいて天草郡市歯科医師会創立80周年記念式典が華やかに開催された。

式典に先立ち東日本大震災で亡くなられた方々、並びにこの10年で本会の物故会員となられた故北村会員、原田会員、松原会員、浜崎敏子会員、鬼塚会員に対し黙祷が捧げられた。続いて久々山会長が「会の予算の半分は東日本大震災の義援金にあてた為やや縮小しましたが、先輩方の歩まれた足跡を振り返り新たな出発点としたい。」と式辞を述べた。さらに園田博之代議士、西岡県議、安田天草市長、浦田県歯会長から祝辞を頂戴した。それから10分程で天草歯科医師会の歴史を懐かしい写真と共に振り返り、先達の先生方若々しい姿の再現にたいへん好評を博した。続いて会員の中から役員功労者、各医院の従業員の中から10年以上の勤続功労者、そして天歯会長、県歯会長と歴任され誰よりもこの80周年を楽しみにされていた故鬼塚義行元会長に

盛会となった

特別功労の表彰が行われた。役員功労者を代表して青砥元会長が謝辞を述べられ式典は終了した。

引き続いて祝賀会へと移り苓明高校郷土芸能部が天草ハイヤ踊りでオープニングを盛大に盛り上げてもらい、来賓祝辞の後、鏡開きで会場内は更に華やかになった。上天草市長の乾杯の後、すぐに各テーブルお酌の交換となり大盛り上がりの一夜となった。尚今回の式典は熊日からも取材に来て頂き、10月27日付の朝刊に掲載された事をご報告します。90周年、100周年とさらなる飛躍が続きますように！　（槌本亮二郎）

『直視・直達』が大原則

― 合同学術講演会 ―

荒尾・玉名

10月29日（土）、16時よりホテルブランカにてH23年度荒尾玉名歯科医師会合同学術講演会が行われた。

これは会員の歯科医学に関する学識を高めるために毎年行われている。担当は荒尾市、玉名郡市で隔年ごとに交代し本年は荒尾の担当で、講師に公立学校共済組合九州中央病院歯科口腔外科の堀之内康文部長を招聘し約２時間「開業医のための外来小手術～切開、縫合などの基本手技と埋伏抜歯を中心とした小手術の実際」という演題で、ご講演いただいた。

まず総論の中で講師が強調されたのは「術後の腫脹の心配、縫合の面倒さ」の理由で切開を小範囲しか行わず、結果的に術中・術後に余計なストレスを生まないためにも「直視・直達」できるような大きな切開を心がけることで手術をスムーズに終えることができ、結果、良好な予後を得ることができると力説された。

そして各論では様々な部位、歯牙の状況に

今年は、荒尾市が担当

応じた抜歯の勘所を重点的にスライド、動画を交えて解説され、論より証拠とばかりにお見せいただいた動画の埋伏歯の抜歯の手際のよさには会場からどよめきが起きるほどだった。

すべての内容を、誌面上で紹介しきれないのが残念ではあるが、興味のある方は「必ず上達抜歯手技」（クインテッセンス出版）をご一読下さい。　（坂田　輝之）

郡市会だより

盛り上がったセミナー

― 三師会と歯周セミナー ―

上益城

10月29日に、クレインパレスにおいて、上益城郡の医師会、歯科医師会、薬剤師会合同の「上益城郡三師会」が開催された。今年の主管は薬剤師会であり、セミナーの内容は、歯科医にとっては難解であった。懇親会では、立場を超え、いろんな学びがあった。骨折時のチタンプレートは、20～30万円で保険適応だそうである。

11月12日。歯科医師会館において、東克章氏による「臨床で実践できる歯周治療」が宇城三郡市セミナーとして開催された。ＥＭＳによるデブライドメントの重要性など詳しいペリオのやり方をかいま見ることができた。豊富な臨床例とともに、丁寧なセミナーであった。今後とも、県内の歯科医のために、ますます、頑張っていただきたい。懇親会は、日航ホテルであった。会が終了し、一本締めが行われた後も、誰も席を立たないほど、盛り上がり、時が過ぎていった。

丁寧に説明して頂いた

（東　正也）

防長路へ

― 研修旅行記 ―

人吉

11月５日(土)曇り時々雨

行き先は山口県。朝７時にバスに乗り込み人吉を出発した。人吉の会員９名と家族の方が１名参加し、バスガイドと運転手が同行した。乗り込むとすぐに私と後部座席の数名でビールを飲み始めた。最初の目的地は山陰の小京都といわれる島根県津和野町。到着まで５時間30分という長い道のりであった。津和野の街並みは無数の水路で囲まれていていたるところに色とりどりの大きな鯉が泳いで心が癒される落ち着いた街並みであった。

萩へ向かう。萩といえば萩焼が有名だ。せっかくなのでビール専用のマグカップを購入した。その後、松陰神社を参拝し、吉田松陰の幽囚旧宅や松下村塾を見て回り松陰の勤労好学の精神を学ぶ事ができた。この後毛利氏が建立したといわれる東光寺を参拝し、萩を後にした。そして一同はまたバスにゆられて１時間弱で長門湯本温泉のホテルに到着した。温泉に浸かって全員で宴会となった。

翌日11月６日(日) 青海島遊覧船に乗った。残念ながら天候が悪く波が高かったため島に近づくことができず遠くから島を眺めるだけだった。晴れた日にもう一度行ってみたいものだ。ここは仙崎かまぼこが有名な場所で確かにおいしかった。ここで買った金太郎というこの近くの海でしか獲れない魚の一夜干しを買って帰ったが、家で食べてみるとこれが非常においしかった。その後ＣＭでも有名になった金子みすず記念館を見学した。金子みすずの詩はどれも心に響くものばかりだった。下関に到着するとまず唐戸市場へ向かった。市場は人でごった返しており、みな新鮮な海産物を大量に購入していた。昼食は火の山公園の展望台の２階の店でとった。関門橋を見ながらのフグ料理は最高だった。その後門司港レトロを散策し、ここで地ビールを飲んだ。帰りのバスの中ではバスガイドがずっと話続けていたのが印象的だった。ビールばかり飲んでいた２日間であった。残念ながら天候は良くなかったが心と体が癒される良い旅だった。

皆でニコやか

（佐々木立命）

郡市会だより

「観光と食を楽しんだ２日間」

— 会員旅行 —

玉名

11月５日（土）～６日（日）、今春めでたく全線開通した九州新幹線を使っての毎年恒例の玉名郡市歯科医師会会員旅行が行われた。

５日14時14分発の新幹線に乗り込んだ19名の会員は早速、缶ビールを手にし、旅行気分を盛り上げつつ快適な乗り心地とスピード感を楽しみながら博多で乗り換え16時８分広島駅に想像以上の早さで到着し旅の疲れはほとんど感じなかった。

そして、法華クラブ広島にチェックインし、一部の会員は原爆ドームの見学に行き、全員で18時から「隠戸」（おんど）のカキ料理に舌鼓を打った。２次会は紅一点原会員のリクエストでカラオケを楽しみ、宴会は大盛況であった。

さて、一夜明けてホテルで朝食を済ませた我々は8時15分に集合し、バスで江田島の旧海軍兵学校を見学した。NHKの「坂の上の雲」のロケ地にもなり、歴史的資料も多数展示されており、大変印象深かった。

その後、呉に向かいテレビ・映画などでも話題になった「大和ミュージアム」を見学した。

旧海軍兵学校舎をバックに記念撮影

現在340メートルの深海に沈む本物の「大和」を一度見てみたかったなぁと思いつつ呉を後にし、広島市内のお好み村へ向かった。

「広島風お好み焼き」で腹を満たした我々は、広島駅に集合し、お土産を買い込み、16時39発の新幹線で広島を後にした。

「あぁーもっとカキを食べたかった」と後ろ髪を引かれる思いであった。

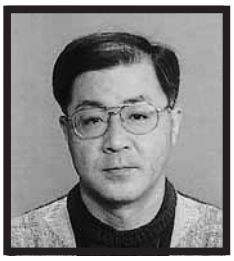
「そうだ、今度は家族で来よう。またカキを思う存分食べるぞ」などと、思いをはせ、博多で乗り換えたにもかかわらず18時29分には新玉名駅に無事到着した。

九州新幹線全線開通により本当に広島が近くなったとあらためて感心した私であった。

（西村　真悟）

訃　　報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



上野　穣一　先生

平成23年11月25日　ご逝去　59歳

●郡　市　名：熊本市

●入会年月日：平成元年９月26日

歯の健康ランド　今年も、あいにくの雨模様

― 新樹会イベント ―

10月30日（日）10：00～16：00、熊本県若手歯科医師新樹会イベント「第19回　歯の健康ランド」が、熊本市動植物園にて開催された。

当日は、天気予報通り、あいにくの雨模様。午前８時に動物園入り口に集合し、準備を行った。そして、雨が降り続く中、午前10：00イベントがスタートした。午前中は、保育園の団体が数組来ていたおかげで、子連れの来場者がみられ思ったより賑わった。またスタンプラリーでは、歯科相談、矯正相談、ブラッシング指導、フッ素洗口体験コーナーの４コーナーでスタンプをもらい、１つでもスタンプがあれば、オーラルケアグッズおよびおもちゃ（KAWARYO九州提供）がもらえる事としていた。ある小学生の男の子は、４個ともスタンプがほしくて、歯並びが良いにもかかわらず、矯正相談にも顔を出し場を和ませてくれた。

また、恒例のステージイベントでは、学生によるブラッシング指導の劇から始まり、関光輝会員とラビッツのオーラルケアクイズ、そしてサンスターによる劇（ミッフィーと歌おう）とゲームが行われた。１回目（午前）のステージでは、200人弱の人が集まり、何とか盛り上がりホッとした。

毎年恒例のステージイベント

あいにくの雨であったが、多くの参加者があった

午後からは、雨あしは弱まったが、動物園のお客さんもまばらとなり、イベントの来場者も減っていった。そして、午後４：00イベント終了となった。結果は、ブラッシング指導：86名、フッ素洗口体験：123名、無料歯科相談：136名、歯科矯正相談：17名と思ったより、多くの参加者があった。

このイベントは、３年連続雨が降っており、ここ数年天候に恵まれていない。来年こそは、晴れる事を願っている。最後になりましたが、イベント開催にご協力頂きました皆様に心より感謝致します。

イベントの内容

オーラルスクエア
- 歯科相談コーナー
- 歯科矯正相談コーナー
- ブラッシング指導コーナー
- フッ素洗口体験コーナー

ステージイベント（１日２回、各60分）
- ブラッシング指導劇（中島学園生徒）
- オーラルケア・クイズ（新樹会）
- オーラルケア劇「ミッフィーと歌おう」（サンスター）
- みんなでポン！（ゲーム）（サンスター）

（片山　晃紀）

九地連厚生行事

剣　道　団体戦４年連続の準優勝、個人戦入賞ラッシュ

10月16日（日）、秋晴れのさわやかな気候の中、長崎三菱重工体育館で、九州歯科医学大会剣道大会が開催された。長崎と言えば、もう24年前になるが私がまだ歯科医師会に入会して間もない30代前半、大会前日に大学剣道部の後輩と久々に会って飲み歩きし（途中からどういう訳か地元の美女２人が一緒だったので）調子こいて飲み過ぎてしまい、試合当日は何度も吐きながらまっ青な顔で試合をした覚えがある。

あれから時は流れ50代後半になった私は宿泊先のホテルの近くの飲み屋で、美女とは対極の位置にある牧野先生と二人、静かに剣道の話をしながら酔わない程度のお酒で部屋に戻ったのであった。長崎まで来て観光も繁華街へも行かず、ホテルの窓から見えるのは、マンションとお墓だけである。けれども試合前日はあまり出歩かないのが賢明。最近は酒の臭いプンプンという状態で試合に臨む猛者もいなくなり（ただ年取って飲んだらすぐ眠くなるだけなのだが）レベルの高い大会となっている。

団体戦はＡ、Ｂ２チームが出場。

＜Ａチーム＞	＜Ｂチーム＞
先鋒　太田（帯山）	中井（伊東歯科）
次鋒　三森（高森）	沢木（東野）
中堅　増永（菊池）	徳永（健軍）
副将　中嶋（植木）	田ノ上（池田）
大将　牧野（水道町）	西田（新地）

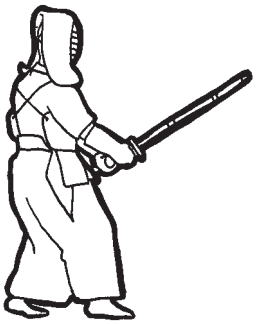
以上のメンバーで戦った。

Ｂチームは予選リーグで敗退した。Ａチームは例年通り決勝まで進んだのだが、予選リーグでは勝っていた福岡Ａチームに僅かに及ばず、４年連続の準優勝であった。

惜しくも準優勝。来年こそ優勝だ！

個人戦は今大会奮闘して一般の部は２位中嶋、３位太田、三森、敢闘賞中井、シニアの部、優勝田ノ上、敢闘賞沢木の各選手が入賞した。

剣道は私にとって生き甲斐であり、悩みであり、自分をずっと見つめてきた友であり、自分というもの（性格、友人、考え方）を創ってきた存在である。勝ち負けにこだわらず、また精進して、来年の熊本大会では終わってみたら団体優勝していたという事になればよいかなあと思っている。



（田ノ上　輝）

九地連厚生行事

野　球　5年ぶりの1回戦敗退

10月16日（日）、長崎ビックNスタジアムに於いて、第６４回九州歯科医学大会野球大会が行われた。３年ぶりの優勝を目指したが、１回戦で地元長崎県に１－４で敗れた。開会式で物故選手の黙祷ならび永年功労選手の表彰が行われた。熊本からは有田俊昭が30年、井口泰治が20年をそれぞれ授与した。

１回戦

山口完投も相手新鋭エースの前に２安打１得点に封じられる。

長　崎	1	0	0	0	3	0	0	4
熊　本	0	0	0	0	1	0	0	1

（長）井上―木原
（熊）山口―渡辺洋
▽二塁打　井上（長）、西山（熊）

初回一死から２番打者に左前安打を許すと、続く３番打者の犠打を一塁手が処理を誤って先制を許した。しばらくは膠着状態が続いていたが、５回に一死走者無しから、10番打者（エキストラヒッターを含む10人攻撃可）を四球で出塁させると、失策と死球で一死満塁のピンチを招いた。山口は続く打者を遊ゴロに打ち取るが、本塁への送球が逸れて２点、続く打者の中犠飛によって１点と合計３点を加えられた。攻撃陣は４回まで１安打に封じ込められていたが、５回に渡辺洋の四球を足がかりに西山の左越え二塁打で１点を返した。最終回に相手失策の走者を二塁まで進めたが、ホームに迎えることは出来なかった。

さて、来年は熊本で二つの大会がある。10月には九地連、５月には第14回３地区歯科医師親善野球大会である。九州代表は福岡県であるが、われわれは開催県として参加する。いわゆる第二代表である。過去において同代表からの優勝チームは大分県が一度達成しているだけである。昨年３位から日本一となった千葉ロッテのように下剋上を起こして、秋に弾みを付けたい。

謝辞：会場まで応援にきて頂きました県歯科医師会執行部の先生方ならび事務局の方々にこの場をお借りして、厚くお礼を申し上げます。

参加者：菅原、藤本、上田、有田、中山、河合、渡辺洋、吉崎、右山、井口、田中、井上、井野、西、福井、椿、山口、宮本、岡村、樋口、渡辺裕、岡

※今大会を含む全試合のスコアテーブルは熊歯野球部ホームページを参照して下さい。

完投の山口

唯一の打点を上げた西山

（井上　真樹）

九地連厚生行事

テニス　戻ってきた優勝カップ

「まさか！」。九地連の開催地である長崎に向かう道中、高速道路のサービスエリアで待ち合わせをしていた熊本チーム。その中の一台、H号だけなかなか到着しません。しびれを切らした高松会員が電話をかけると、なんと高速道路上で残りの走行可能距離が「ゼロ」になったというではありませんか。つまり、ガス欠寸前。どうにか一番近いICで高速を降り、近くのガソリンスタンドまで息を殺してたどり着いたそうです。その後の懇親会では、もってこいの酒のさかなになりました。

さて、昨年、肥後もっこすチームは福岡県チームに５連覇を阻まれ、悔しい思いを胸に挑んだ今年の九地連。メンバーは山口（一）、八木、高松、飯田、山根、山口（英）と、ベストメンバーで臨みました。例年のごとく準々決勝までは危なげなく？勝ち進みいよいよ準決勝。相手は強豪、大分県チーム。九地連の試合は団体戦となっており、各チーム６人でダブルス３試合のうち、２勝したチームの勝ちとなります。オーダー表を交換したところ相手チームとの当たり方は最悪で、肥後もっこすチームに緊張が走りました。熊本No.1ダブルスの山口（一）・八木ペアは相手のNo.３ペアに圧勝。また、苦戦すると思われていた高松・飯田ペアが、相手のNo.２ダブルスに激戦のすえ勝利して、肥後もっこすチームの勝利が決まりました。ここで、山根・山口（英）ペアが負けていれば、高松・飯田ペアがヒーローインタビューを受けることになっていたでしょうが、この日の山根・山口（英）ペアは絶好調。あっさり相手のNo.１ダブルスに勝っていました。

チーム、やっぱり最高!!

残るは決勝戦。今年も昨年同様福岡県チームです。昨年からバリバリの若い先生が３人も加わり、昨年以上にスキの無いチームになっていました。まず、高松・飯田ペアの相手はインターハイで全国ベスト４に入った怪物。さすがの高松・飯田ペアでも勝てませんでした。山根・山口（英）ペアの相手はバリバリの若いペア。ショットに威力があり、試合前の練習でちょっとビビりましたが、今日の山根・山口（英）ペアは別格。苦戦すると思われた試合もあっさり勝利しました。残る山口・八木ペアも全メンバーが応援する中、期待に応えて完勝。昨年手放した優勝カップが、再び熊本の歯科医師会館に戻ってきました。

熊本のもう一つの火の国チームは、残念ながら予選敗退となりましたが、予選で大塚・小野ペアが激戦を演じた鹿児島チームが４位に入るなど、あと一歩というところでした。

帰りは恒例となった焼肉屋さんで打ち上げです。優勝の余韻に浸りながら、とっても気持ちいい時間を過ごしました。やっぱり熊本のデンタルテニスチーム最高です。皆さんお疲れ様でした。

（山口　英司）

H.23.12

会　務　報　告

自　平成23年10月
至　平成23年11月

所管	日付	摘要	出席
総　務	10月21日	故嘉悦憲文会員（上益城郡）告別式弔辞奉呈（山都町）	小島副会長
		県体育協会第２回財務特別委員会（メルパルク熊本）	澤田事務局長
	22日	天草郡市歯会創立80周年記念式典・祝賀会（天草シーサイドホテル）	浦田会長、小島副会長、渡辺専務理事、松岡・勇・八木常務理事、澤田事務局長
	24日	第８回理事会 （１）新入会員の承認（２）研修登録医の推薦依頼（３）県議会議員との懇談会　ほか	浦田会長他全役員、伊藤学院長
	25日	第37回九州地方社会保険医療協議会熊本部会（ＫＫＲホテル）	中嶋副会長
		県庁との懇談会（熊本市）	浦田会長、小島・宮坂副会長、渡辺専務理事、松岡・八木常務理事、田上・大林・牛島理事、澤田事務局長
	28日	福岡国税局管内税務指導者協議会（長崎県歯会館）	前野会員
		第２回県病院歯科検討会（県庁）	宮坂副会長
		㈱モリタとの学会打合せ（熊本市）	小島副会長、渡辺専務理事、牛島理事
	29日	会計打合せ	八木常務理事、吉永会計士
	30日	職員研修旅行（福岡）	澤田事務局長他職員
		陸上自衛隊西部方面隊創隊56周年記念式典・祝賀会（陸上自衛隊健軍駐屯地）	前野会員
		県警察歯科医会研修会～実体験から始める情報講座～ 受講者：86名 講師：伊藤明彦・矢毛石陸男・大部彰義・角岡秀昭・内﨑祐一会員	浦田会長、小島副会長、渡辺専務理事、牛島理事、池嶋委員長他４委員
	11月２日	第15回常務理事会 （１）学院と柏木医院との境界確認（２）各郡市歯科医師会会長・専務理事連絡会議の報告並びに協議事項（３）平成24年度九州各県学術担当者会の開催期日　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員、牛島理事
	３日	第10回警察歯科医会全国大会会長招宴（盛岡市）	浦田会長
	４日	第10回警察歯科医会全国大会（盛岡グランドホテル）	浦田会長、小島副会長、矢毛石陸男会員
	５日	新入会員研修会	中嶋副会長、渡辺専務理事、勇常務理事、前田・冨屋・松本・牛島・椿理事
	７日	第５回新法人設立検討臨時委員会	牛島委員長他全委員
	８日	第２回県社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会保健福祉推進部会（熊本テルサ）	中嶋副会長
		各委員会概算要求協議（学術、社会保険、総務・厚生）	小島・中嶋副会長、渡辺専務理事、八木常務理事、前田・牛島・椿理事
		総合政策推進プロジェクト会議 （１）次年度事業計画（２）未入会者セミナー（３）認定衛生士制度（４）対外ＰＲ	小島副会長、渡辺専務理事、八木常務理事、牛島・椿理事・伊藤学院長
	９日	第１回県歯科技工士国家試験委員会（県庁）	松岡常務理事、牛島・椿理事、添島委員長
		自民党県連幹事長来館応対	浦田会長、小島副会長
		第721回支払基金幹事会（支払基金）	浦田会長
		月次監査　10月末現況監査	片山・西野監事
		各委員会概算要求協議（地域保健、広報、学校歯科）	宮坂副会長、渡辺専務理事、勇・八木常務理事、田上・大林・加藤理事）
	10日	第47回九州調停委員大会（佐賀市文化会館）	前野調停委員
	12日	城南五郡市連絡協議会懇親会（八代ロイヤルホテル）	渡辺専務理事、八木常務理事
	14日	県医療対策協議会（熊本テルサ）	浦田会長
		各委員会概算要求協議（医療対策、センター・介護）	小島副会長、渡辺専務理事、松岡・八木常務理事、冨屋・松本理事
		県医療・保健・福祉団体協議会臨時理事会（県医師会館）	浦田会長
	15日	第16回常務理事会（１）新入会員の承認（２）日本歯周病学会の受け入れ （３）各郡市会長・専務理事連絡会議　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員、牛島理事
	16日	都道府県専務理事連絡協議会（日歯会館）	渡辺専務理事
		会計打合せ	八木常務理事、吉永会計士
学　術	10月29日	九州各県学術担当者会（長崎県歯会館）	椿理事、添島委員長
	11月11日	学術委員会 （１）ＤＶＤセミナー（２）バイタルサインセミナー（３）訪問診療講演会　ほか	椿理事、添島委員長他６委員
	13日	平成23年度日歯生涯研修ＤＶＤセミナー及び会員発表 受講者：97名 発表者：伊藤明彦会員（菊地郡市）、松永久会員（熊本市）、村上慶会員（熊本市）	小島副会長、椿理事、添島委員長他５委員
社会保険	10月29日	シニア倶楽部社会保険研修会（熊本ホテルキャッスル） 受講者：31名	浦田会長、中嶋副会長、渡辺専務理事、勇常務理事、前田・牛島理事、田中委員長他１委員
		社会保険個別相談会 相談者：３名	清水・反後副委員長他５委員
	11月２日	社会保険委員会 （１）会員向け発行物（２）個別指導立会い・個別相談会（３）近県社保担当者会議	中嶋副会長、勇常務理事、前田理事、田中委員長他10委員
	８日	九州厚生局との打合せ	中嶋副会長、前田理事、渡辺熊本市理事
	12日	近県歯科医師会社会保険担当者会議（香川県歯会館）	浦田会長、中嶋副会長、前田理事、田中委員長他２委員
		社会保険個別相談会　相談者：１名	反後副委員長他２委員

所管	日付	摘要	出席
社会保険	15日	社会保険個別相談会　相談者：１名	中嶋副会長、勇常務理事
	17日	保険個別指導（水前寺共済会館）	田中委員長、金本・中村直寿委員
地域保健	10月22日	地域保健小委員会　（１）九州口腔衛生学会	田上理事他３委員
		九州口腔衛生学会幹事会	宮坂副会長、田上理事
	23日	第33回九州口腔衛生学会総会・学術大会 参加者：117名	浦田会長、宮坂副会長、渡辺専務理事、田上・大林・牛島理事、川瀬委員長他６委員
	28日	第３回笑顔ヘルＣキャンペーン打合せ （１）笑顔ヘルＣキャンペーン中央イベント最終打合せ	宮坂副会長、田上・加藤理事、川瀬委員長
	30日	歯の健康ランド（熊本市動植物園）	加藤理事
	11月５日	笑顔ヘルＣキャンペーン無料歯科相談〔宇土郡市〕（宇土シティモール）	宇土郡市会員、宮本委員
	６日	笑顔ヘルＣキャンペーン無料歯科相談〔上益城郡〕（ジャスコクレア熊本店）	上益城郡会員
		笑顔ヘルＣキャンペーン無料歯科相談〔阿蘇郡市〕（高森町）	阿蘇郡市会員
		笑顔ヘルＣキャンペーン中央イベント（熊本市・上通ぴぷれす広場）	浦田会長、宮坂副会長、田上・加藤理事、川瀬委員長、小田・立本副委員長他５委員
	７日	笑顔ヘルＣキャンペーン無料歯科健診〔荒尾市〕（至12日）（荒尾市会員診療所）	荒尾市会員
		笑顔ヘルＣキャンペーン無料歯科健診〔玉名郡市〕（至12日）（玉名郡市会員診療所）	玉名郡市会員
		県健康づくり県民会議（県庁）	田上理事
	12日	笑顔ヘルＣキャンペーン無料歯科相談〔八代〕（やつしろハーモニーホール）	八代会員
		笑顔ヘルＣキャンペーン無料歯科相談〔天草郡市〕（栖本福祉会館）	天草郡市会員
広　報	10月21日	広報小委員会　（１）会報11月号・第１回校正	加藤理事、佐藤委員長他３委員
	27日	広報小委員会　（１）会報11月号・第２回校正	加藤理事、佐藤委員長他１委員
	11月15日	広報委員会　（１）会報12月号・編集	加藤理事、佐藤委員長他全委員
学校歯科	10月21日	第75回全国学校歯科保健研究大会（愛媛県民文化会館）	浦田会長、大林理事、河原委員長、田畑・勇委員
	27日	第61回全国学校保健研究大会（静岡県コンベンションアーツセンター）	浦田会長、大林理事、宇治委員
		第61回全国学校歯科医協議会（センチュリーホテル静岡）	浦田会長、大林理事、宇治委員
	28日	第61回全国学校保健研究大会（静岡県コンベンションアーツセンター）	浦田会長、大林理事、宇治委員
	11月12日	歯科衛生士会との合同懇談会 衛生士会：６名	宮坂副会長、渡辺専務理事、田上・大林理事、河原・川瀬委員長他７委員
	17日	県ＰＴＡ災害見舞金安全会判定審査委員会（県総合福祉センター）	西野監事
医療対策	10月21日	医療対策委員会 （１）事例報告検討（２）九州各県医療安全対策担当者会（３）医療対策講演会　ほか	冨屋理事、岡田委員長他６委員
	26日	医療相談	冨屋理事、永松副委員長他１委員
		医療対策小委員会 （１）九州各県歯科医療安全対策担当者会打合せ・資料整理（２）医療相談	冨屋理事、岡田委員長
	29日	九州各県歯科医療安全対策担当者会（福岡県歯会館）	冨屋理事、岡田委員長
	11月11日	玉名郡市歯会医療対策講演会（玉名文化センター）	冨屋理事、犬束委員
	17日	熊大口腔外科との協議会（熊本市）	浦田会長、小島副会長、渡辺専務理事、八木常務理事、冨屋・牛島・椿理事他２委員
センター･介護	10月21日	センター・介護小委員会　（１）九州口腔衛生学会	松本理事、山田・五島委員
	30日	介護者歯科実技研修会事前打合せ 介護者歯科実技研修会の日程、役割	松本理事、平井委員長他２委員
	31日	口腔保健センターカルテ・会計チェック（口腔保健センター）	五島委員
	11月２日	第１回高齢者にやさしい食環境整備のためのニーズ調査検討会（県庁）	松岡常務理事
	３日	介護者歯科実技研修会 受講者：107名	宮坂副会長、松岡常務理事、松本理事他６委員
総務･厚生	10月26日	総務・厚生委員会 （１）保険会社より癌保険の説明（２）10／30警察歯科医会研修会役割分担 （３）健康診断　ほか	牛島理事、池嶋委員長他４委員
	28日	球磨郡健康診断（あさぎり町免田保健センター）	稲留裕士会員
	29日	シニア倶楽部（熊本ホテルキャッスル） 参加者：43名	浦田会長、小島・中嶋副会長、渡辺専務理事、勇・松岡・八木常務理事、前田・牛島理事、田中・池嶋委員長
学　院	10月22日	学院推薦入学試験　受験者：55名	小島副会長、伊藤学院長他５委員
		天草郡市歯会創立80周年記念式典・祝賀会（天草シーサイドホテル）	伊藤学院長
	26日	学院入学試験委員会	浦田会長、伊藤学院長他８委員
	29日	学院推薦入学試験合格者発表　合格者：48名	
	11月11日	学院自衛隊隊内生活体験反省会	伊藤学院長他５名
	16日	第33回九州ブロック専門学校体育大会（鹿児島市）　学生：３名	岩切教務主任
国保組合	10月22日	天草郡市歯会創立80周年記念式典・祝賀会（天草シーサイドホテル）	上野副理事長
	11月17日	組合地区国保運営協議会職員研修会（県医師会館）	澤田事務局長他３名
事業課	10月27日	第１回奥様医業経営塾（第４講）	
	11月４日	第２回奥様医業経営塾（第３講）	
	10日	第１回奥様医業経営塾（第５講）	
	17日	第２回奥様医業経営塾（第４講）	

事業課からのご案内

その1

団体定期（歯科医師会専用グループ保険）のご案内

保険期間　平成23年8月1日から1年間（中途加入できます）

★最高「２８００万円」保障！無診査で加入 OK！
★配偶者も１０００万円まで加入 OK！
★１年更新で配当金は加入者へ還元！
★個人保険より団体保険が安い！
★入院保障も１日１５,０００円まで OK！

団体定期保険は歯科医師会が契約者になり保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。**是非ご加入下さい！**

その2

個人でご加入の保険も保険料納付は団体収納扱いでお願いします!

下記の保険会社と団体収納契約をしておりますので、歯科医師会の口座引落しがご利用できます。
保険料が団体割引でお安くなります。ご加入の保険内容に影響はありません。
手続きは簡単です。事務局が代行します。**是非ご利用下さい！**

かんぽ生命	第一生命	住友生命
日本生命	T&D ﾌｨﾅﾝｼｬﾙ生命	明治安田生命
朝日生命	富国生命	ｱﾒﾘｶﾝﾌｧﾐﾘｰ生命
ﾒｯﾄﾗｲﾌｱﾘｺ	損保ジャパンひまわり生命	三井生命

＊詳細につきましては　県歯事務局 TEL:096-343-8020 担当　田尻　までご連絡ください

1 行事予定

4日（水）	事務局仕事始め
10日（火）	学院始業式
18日（水）	第20回常務理事会
25日（水）	第11回理事会
28日（土）	学院戴帽式

熊本県ご当地よ坊さん

編集後記

今年も、あっと言う間に12月です。

あるラジオ番組で、1年があっちと言う間に過ぎると感じるのは、いろんなことに挑戦せず、同じような毎日を過ごしているからだいうことが話されていました。

確かに、齢を重ねると同じ毎日の繰り返しで1年が本当に早いものです。

さて、今年も、何かと皆様に会報を読んでいただけるよう、委員会だよりおいても、単なる報告でなく、講演会であればその内容をできるだけお書きいただくよう執筆いただく皆様にお願いしてきました。

執筆下さった皆様の努力に感謝致します。本当にお世話になりました。

一度も、開かれないまま、重ねられていくことがないように、切に願いまして、今年の最後の御挨拶と致します。来年もよろしくお願い申し上げます。

（H.K）

くまもとサプライズキャラクター『くまモン』
くまもとサプライズ熊本県許可第1086号

8020 歯からはじめる。笑顔ヘルC

発行日／2011年12月15日発行
発行人／浦田　健二
発行所／社団法人　熊本県歯科医師会　〒860-0863 熊本市坪井2丁目4-15
TEL.096-343-8020　FAX.096-343-0623
URL http://www.kuma8020.com
印刷所／コロニー印刷